

香川県立多度津高等学校 100周年記念行事

あずまや建設プロジェクト

(令和2年：夏号) 課題研究スタート

ようやく学校がスタート

5月下旬から学年別登校が始まりました。先が見えない状況でしたが、とりあえずホッとしました。しかし、コロナウィルス感染症対策を優先するため、思うような活動ができません。制限される中での活動を続けながら進めたいと思います。

課題研究スタート

本年度の課題研究は「あずまや建設プロジェクト」チームとして3班で編成しました。「管理」、「設計」、「施工」の各グループに分かれ、それぞれが役割を果たしていくこととなります。今年度の最終目標は屋根工事終了までとし、これからがんばっていきたいと思います。

【各グループのメンバーは以下の通り】

- 管理グループ6人(担当教員：前川英介) ※兼 地域交流
 - ・荒木隼人 ・池田圭佑 ・石井太陽 ・木下昌那哉 ・黒田日向 ・下田まなと
- 設計グループ6人(担当教員：西山卓弥) ※兼 照明デザイン
 - ・上田海大 ・合田光騎 ・佐柳和樹 ・田村海翔 ・蓮井陽輝 ・明珍佳樹
- 施工グループ8人(担当教員：富家寿人) ※兼 家具製作
 - ・安藤 潤 ・入谷祥喜 ・植田航生 ・甲斐和也
 - ・駒松研成 ・白井伶門 ・樋笠徹太 ・宮本 翔

企業さんへの挨拶とお願い**【榊山倉建設さんとの打合せ】**

今回のこのプロジェクトは榊山倉建設さんの賛同なしではできなかった内容です。プロジェクトは3年前の平成29年の秋から話を進め、今日に至っています。これまで何度も打ち合わせを重ね、案を練ってきました。ご迷惑をおかけしますが、これからもお世話になります。

**これまでの取り組み****【事前学習会】協力：榊山倉建設**

5月22日(金)に榊山倉建設さんと生徒との顔合わせを、今年度最初の課題研究で行いました。昨年度に有志で行ってきた建設(案)を中心に内容を考え、これからの展開について話し合いました。また仲間意識を持つためにレクリエーションを行い、団結力が生まれました。終始楽しい時間となりました。

**【設計依頼】協力：菅組**

5月29日(金)に設計班が榊菅組さんへ設計依頼に行きました。これから設計を進め、確認申請用の図面を仕上げる必要があります。この日の打ち合わせでは、設計に向けての現実を痛感することになりました。まだまだ課題は山積していますが、諦めずにがんばりたいと思います。最後に、今年度就職した先輩と仕事について話す時間が持てました。



6月12日(金)



多度津町との設計打合せ

6月19日(金)



設計最終調整

7月17日(金)



3次元CAD

生徒感想文(設計グループ)

2年生の3学期にあずまやプロジェクトを知りぜひ設計に携わりたいと思い参加しました。そのときには、まだどのようなものができるのか想像もできませんでしたが放課後に模型を作ったり図面を書いたりすることで、大きさの実感がわきました。また、企業や町の方々とお話する機会をいただいた時に、本当に自分たちで考えたあずまやができるんだと実感し、感動しました。しかしまだこのプロジェクトは、始まったばかりですのでこれからの活動も頑張ります!

上田海大

これまでの取り組み

【古民家見学】丸亀市中府町 協力：(株)山倉建設
6月5日（金）に(株)山倉建設さんのご協力で古民家の見学会を行いました。こんぴらさんへ向かう旧丸亀街道沿いにある古民家で、当時の面影を感じる構造になっていました。時代とともに生活様式が変化し改装は重ねていましたが、まだまだ利活用できると感じました。

**生徒感想文（管理グループ）**

今回の古民家の見学で印象に残った事は、昔の職人の「家」に対する丁寧さです。加工機械などが無い時代に手作業で行い、見事な仕上げとなっていることにびっくりしました。このような立派な建物を建てる労力を肌で感じる事ができ、技術の高さに感動することができました。また、現代ではあまり見ないような階段や構造などを見ることができて良かったです。さらに住宅は時代とともに変化しており、これからの生活に合った空間づくりが必要なことも実感することができました。

黒田日向

【古民家見学】多度津町「合田邸および周辺の町並み」

7月3日（金）に地元「合田邸」の見学に行きました。合田邸は大正から昭和にかけて建てられた富豪の屋敷で、現在保存運動が行われています。今回のプロジェクトは古材の利用も考えており、一部をこの合田邸から頂く準備をしています。その後、周辺の街並みについても考えました。

**生徒感想文（管理グループ）**

私達は7月3日に多度津町に残る町並みや古民家の見学に行きました。こんぴら街道として賑わった本通りでは、これまで気にしなかった町家が残っており、多くの発見がありました。中でも「合田邸」の中の見学は驚きで一杯でした。大きな門や、多くの部屋など想像以上の住宅でした。かなり古い住宅ですが、建具などの開閉もスムーズで、職人さんの技術や材料へのこだわりを感じることができました。

下田まなど

土地の造成、確認申請に向けての道のり

現地の土地の造成について、8月中旬から始まり、10月頃まで必要とすることが多度津町から連絡がありました。また、接道問題や将来的な公園プランなど、これから解決しなければならないことが多く出てきました。

取り組み風景

この期間の取り組みの様子を写真に撮りました。決して順調とは言えない進捗ですが、少しずつ進んでいます。見学会などは生徒にとって刺激になっています。

